

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年06月01日

計画の名称	弘前市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	弘前市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,667	A	1,667	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H31末
1	下水道区域内普及率を96.2%（H28当初）から96.4%（H31末）に増加させる。			
	下水道区域内普及率 処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	96%	96%	96%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(汚水)	新設	弘前処理分区枝線(A-1)	汚水管 75~200mm L=1.0km	弘前市						114	-			
	A07-002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(汚水)	新設	岩木処理分区枝線(A-2)	汚水管 150mm L=0.2km	弘前市						14	-			
	A07-003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	新設	百沢処理区(A-3)	処理場 N=1箇所、汚水管 7 5~150mm L=4.0km	弘前市						1,055	-			
			種別1:終末処理場、管渠(汚水)																		
	A07-004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	新設	常盤野処理区(A-4)	処理場 N=1箇所、汚水管 5 0~150mm L=2.5km	弘前市						436	-			
			種別1:終末処理場、管渠(汚水)																		
	A07-005	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	調査・設計等(A-5)	汚水管、処理場調査、設計等	弘前市						48	-			
			種別1:終末処理場、管渠(汚水) 種別2:全種																		
												小計						1,667			
												合計						1,667			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
弘前市上下水道部において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	令和2年6月
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成28年度から平成31年度の4年間で67.3haの整備を行い、下水道区域内普及率が96.2%から97.6%へ上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画の最終目標は達成したが、残りの未整備地区についても計画的に下水道整備を推進し、下水普及率を向上させることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現できる環境を創造していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）（%）	
	最終目標値	96%
	最終実績値	97%

(参考様式3) 参考図面 (社会資本総合整備計画)

